

## 2023. 3 月のブルーベリー農園その 3

3 月 19 日に東広島市豊栄町のブルーベリー農園に行くとツバキやシデコブシ、アシビヤスイセン、ナノハナなどが咲いていたし、ソメイヨシノの花芽はすっかり膨らんでいて冬の気配を押しつけて春がずずっと来ていた。農作業は単調だが、周りの春景色に囲まれながら体を動かしている。



3 月 19 日 (土)  
午後農園に着く。農園の花壇のシデコブシが数輪花開いている。



真ん中のブルーベリー畑で枝の剪定と枝の片づけの作業を続ける。



彼岸なのでスイセンやツバキや菜の花を積んでまずは墓参り。



ブルーベリーの花芽、早稲のスパルタンという品種。



3 段あるブルーベリー畑の一番上の畑にスイセンが咲きだした。



農園の周囲の里山のエビネ。花芽が顔を出している。





夕方車で帰る途中にある梅の木の畑。満開だ。



小さい畑ののり面には草が伸びだした。ところどころで八重のスイセンが咲いている。



3月21日(火)

里山にあるブルーベリー縁に行く途中の林の中のヤブツバキ。濃い緑の照り葉の中に点々と赤い花が咲く。



農園の家の蔵のそばの庭の八重咲のツバキは本格的に咲きだした。



雨が心配だったが、ほとんど降らなかったのも真ん中の畑でブルーベリーの太い枝を中心に選定を続ける。枝の片づけは別にして、あと少してこの場所の剪定も終わる。この日はキジが元気な鳴き声を聞かせてくれた。

2023年3月23日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2023年3月23日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなっています》

